

広島別院だより

Vol.9

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会発行

広島別院春彼岸会（はるひがんえ）



春彼岸会が、三月二十三日に勤められました。黄砂に覆われてどんよりとした前日の曇り空とは対照的に、当日はすっきりとした青空が広がっていました。僧侶十五名、参詣者六十名が参集し、午後二時からの勤行は往生礼讃偈・念仏讃・回向・御文

と厳かに勤められました。往生礼讃偈は、七高僧のお一人、善導大師がつくられたものです。真宗大谷派では、春と秋の彼岸会にお勤めします。勤行に続いて輪番が「彼岸会を本願念仏をいただく大切なご縁とさせていただきます」と挨拶されました。講師の宍戸大観師（安芸南組・龍善寺住職）は、「煩惱がはたらく虚偽の世界である此岸に対して、彼岸は本願がはたらく真実の世界である。彼岸は此岸に生きる私たちに問いかけてくれる世界であり、お彼岸はその問いかけに耳を傾ける大切な時です。」と話されました。



山陽教区秋安居（しゅうあんご）開催

去る二月十八・十九日、山陽教区秋安居が別院で開催され、二日間でのべ八十名の僧侶が大谷大学の一楽真（いちらく・まこと）教授の講義を受講しました。

安居とは僧侶の研修会であり、山陽教区では例年秋に教区内の会場を持ち回りで開催していますが、昨年は御遠忌法要のため、二月の開催となりました。



折障子（おりしょうじ）を設置

三月六日、別院本堂の内陣と外陣を仕切る二十枚の折障子が設置されました。

昨年十月の採寸に始まり、木地づくり・漆塗りなど五か月間の製作期間を経て納品されました。

この障子はすべて別院の再建を記念して、（株）三村松から寄進されたものです。

お寺の活動いろいろ

正念寺同朋会冬季研修会

二月二十日、廿日市市河津原の正念寺（安芸南組）同朋会冬季研修会が別院で開催されました。例年、お寺で行っている研修会を今年は、再建された別院の参拝を兼ねて実施し、正念寺同朋会会員四十八名が参加されました。

『正信偈』同朋唱和の後、前安芸南組教導の吉川洋正念寺住職の法話に参加者は真剣に聞き入っていました。



妙蓮寺広島会

二月二十八日、安芸北組（北広島町）妙蓮寺広島門徒会が別院で開催されました。

広島市内に在住のご門徒や妙蓮寺にご縁の深い方など三十二名が参加されました。

久しぶりに会う参加者同士の会話に花が咲き、別院が交流の場となりました。



お寺のはてな？



○鈴（りん）？

鈴はお経などを読む時に使用する仏具です。経典などの読誦の開始・区切り・終了の合図や合掌を解く合図としても打ちます。

鈴を打つタイミングや回数には指定があり、勤行本に黒丸の点（●）などで示されている箇所のみ打ちます。

お内仏に手を合わせる時や焼香する時に「チンチン」と鳴らす人がいますが、鈴は神社の鈴と違い、勤行する時以外は打つことはありません。

○焼香（しょうこう）？

焼香の作法や意味は宗派によつて異なります。真宗大谷派では、まず御本尊を仰ぎ見ます。そして香をつまんで二回焼香してから合掌します。

（本願寺派は一回）それから合掌を解いて、頭を下げます。浄土真宗では焼香する時に、つまんだ香を押しいただいたり、額につけたりはしません。

教如上人四百回忌法要

【期日】二〇一五年四月十八日（土）

【講師】青木馨師（同朋大学非常勤講師）

講題 『教如上人と西国』

【日程】午後一時三〇分～ 法要

三時二〇分～ 記念講演

五時〇〇分 終了（予定）



道場樹 編集室より

あの日から七十年を迎えようとしている。節目の年に私が念じる世界とは何だろうか？広島・長崎の被爆とともに福島の被爆に反対するという意志を強調すれば核被害のない世界を願うことになるのだろうか？それよりも、もっと包括的に「安穏な世の中」がいいのか？

「助けを求める人を救えなかったことへの罪悪感と苦悩」「人としての営みやきずなが壊されたこと」「結婚・就職差別や偏見」…。七十年前から実際に起きている事実を忘れず、知ることが平和には欠かせない。被爆の実相をしっかりと受け止め、そのうえで日々のお勤めを通して、あやふやで、あやまちを繰り返す自身を確かめていきたい。

(M・M)

真宗大谷派(東本願寺)広島別院明信院

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16

Tel 082-241-5342(電話・FAX 共通)

【HPアドレス】

<http://www.ac.auone-net.jp/~hirobetu/>

広島別院では、東本願寺創立の上人であり、また広島別院の開基（創立者）である教如上人の四百回忌法要を厳修いたします。

このたびは、別院の草創期に深く関わりのある滋賀県高島市鴨の慈敬寺（じきようじ）から堅田理（かただ・おさむ）住職をお迎えしてお勤めいたします。

また、記念講演は同朋大学非常勤講師の青木馨先生に戦国時代における本願寺の歴史を詳しくお話しいただきます。

皆様、ぜひご参拝ください。